



**FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB**

## 藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321  
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：内山 淑夫 副会長：山田 壽久 幹事：竹田 敏和 副幹事：渡邊 博文

**第1166回**



### ■ 会長報告 内山 淑夫君

今週は奉仕プロジェクト委員会から下期の活動指針を発表していただく例会です。ご存じのように奉仕の内容は、クラブ・職業・社会・国際・青少年の5大奉仕とされています。これに加えて当クラブでは健康増進小委員会ももうけました。どのような話が聞けるか楽しみにしております。下記に5大奉仕の概要をメモしましたのでこの機会に改めて確認してみてください。

- **クラブ奉仕**は、会員同士の関係をはぐくみ、積極的な会員増強計画を実行して、活気あるクラブづくりを行うことです。
- **職業奉仕**は、すべてのロータリアンが倫理と高潔さをもって仕事にあたり、職業の知識やスキルを社会のニーズ解決のために進んで役立てることです。
- **社会奉仕**は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。
- **国際奉仕**は、国際的なプロジェクトでボランティアをしたり、海外のパートナーとの協同活動を通じて、平和と相互理解を推進することです。
- **青少年奉仕**は、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるよう支援することです。

こうしてみますと実に多岐にわたる奉仕があることに改めてロータリーのすごさを感じます。まずは出席すること、そして職業を通じて社会奉仕することが第1歩だと思います。このクラブ奉仕、職業奉仕はロータリアンとして自動的に果たし

ているものではないでしょうか。また、当クラブでは市民文化祭に協力したり、子供への本の読み聞かせを行い、少年サッカー大会を企画したり、ポリオ募金を推進するなど様々な奉仕事業を抱えております。多少なりとも5大奉仕の理想にベクトルは向いているものと思います。親睦を図りながら、ますます奉仕事業を活発化させるべく活動していこうではありませんか。

### ■ 幹事報告 竹田 敏和君

- 藤枝市国際友好協会事務局より  
第 27 回 世界の国と文化を知ろうがとどいております。
- 静岡県中部保健所長様より  
平成 28 年「はたちの献血」キャンペーンの実施についてのお便りが届いております。

### ■ 出席報告 中村 博史君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
39/47 82.97%	40/47 85.10%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○植田君 ○漆畑君 ○玉木君 ○平原君  
川口君 佐野裕君 鈴木照君

(2)メイクアップ者

平原 望君 (焼津南) 漆畑 雄一郎君 (焼津南)  
森竹 正晃君 (焼津南)

## 委員会報告

青少年小委員会  
佐野 芳正君



<p>主催 藤枝南ロータリークラブ <b>お花畑でお話し会</b></p>			
<p>趣旨 世代を超えた交流を通して、 季節の花畑の中で、絵本、紙芝居、 手遊びなどを野外で楽しむ事を目的とする</p>			
<p>共催 藤枝子どもと水をつなぐ会・お花畑実行委員会</p>			
<p>● 第1回 夏の風情でお話し会 平成27年3月15日(日) 10時～11時30分 ● お話し会 自作絵芝居、シャボン玉で遊ぼう! 絵本の読み「ごんちんぐらでんごん」 絵本朗読 ● 菜の花摘み 無料</p>	<p>● 第2回 ひまわり畑でお話し会 平成27年7月26日(日) 10時～11時30分 ● お話し会 ストーリーリーディング・紙芝居「花いっばいに生まれ」・水で遊ぼうで遊ぼう ● 石巻ももろ「おやおやおやさい」 大型紙芝居・実物やさいあそび ● ひまわり摘み 無料</p>		
<p>● 第3回 コスモス畑でお話し会 平成27年10月25日(日) 10時～11時30分 ● お話し会 紙芝居・みんないで観て観て観て観よう コスモス摘み 無料</p>			
<p>第1回から 第3回まで 実施しました 行事概要</p> <p>第4回以降 予定中</p> <p>藤枝市東部の品川地区(藤枝公園)で18日、 最高気温30度を超える猛暑の中、お話し会 「お話し会」お話し会実行委員会が主催する、 お話し会「お話し会」お話し会実行委員会 お話し会「お話し会」お話し会実行委員会 お話し会「お話し会」お話し会実行委員会 お話し会「お話し会」お話し会実行委員会</p>			
<p>お花畑の中で野外お話し会 自然体験とお話し会の身体 企画</p>	<p>お話し会ボランティア交流 読書と楽しいチャレンジ</p>	<p>社会福祉 子どもと水をつなぐ会の 絵本朗読</p>	<p>スケジュール・写真 スケジュール 第1回 3月15日(日) 10時～11時30分 第2回 7月26日(日) 10時～11時30分 第3回 10月25日(日) 10時～11時30分 お話し会 毎月2万～3万円</p>

職業奉仕小委員会  
桑原 茂君



今期、内山会長から職業奉仕小委員長を拝命され自分なりに「職業奉仕とは何か」を調べ考えてみました。インターネット等で色々勉強させてもらいましたが、中々すっきりと理解ができませんでした。

そんな頭の緩い私にでも少し職業奉仕の意味、または、ロータリーと他の団体との違いを見つけることができました文献をご紹介します。

2640地区(大阪府・和歌山県)職業奉仕委員長であった角谷様がまとめたものです。職業奉仕を理解するには、まず「ロータリー運動は倫理運動である」ことを理解しなければなりません。倫理とは「人が正しく歩む道」です。人を泣かせるような行為をしてはいけません。人を欺いてもいけない、非人道的、非社会的行為をしてはいけない、世のため人のために尽くしなさい、というのが倫理の教えです。

「ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕の実践にあり」とよく言われています。

この言葉は、入会8年目の私でも聞いたことがあります。

職業奉仕の実践とは・・・

一般的には、奉仕活動は、社会奉仕です。『自分の職業を通して社会に奉仕するのが職業奉仕である』と理解している方も多いと思います。職業奉仕という言葉は、ロータリーが作った造語だとも言われています。

では、ロータリーの倫理と合わせて、具体例を挙げてロータリーの職業奉仕を説明させていただきます。

私の所属する泉南RCで動物病院を経営している尾崎会員は、公立幼稚園の砂場における「ギョウ虫検査」の奉仕活動を行いました。砂場というのは非常に不衛生なところで、野良猫や野良犬が来て糞をします。その中にはギョウ虫が混じっていることがあり、園児が知らないうちに感染してしまうことがあるそうです。

そこで砂場のギョウ虫検査をすることにより、より安全な砂場で園児が遊べるよう、園児の健康管理を目的に行いました。“この奉仕活動において、受益者は誰であるのか?”自分以外の人々としての受益者は幼稚園であり、その親です。そして地域社会としては幼稚園であり、教育委員会です。この意味からいうとこの奉仕活動は社会奉仕になります。

次に、この奉仕活動において、自分自身が受益者になるのはどういう場合でしょうか。それは園児の親や幼稚園、教育委員会が尾崎会員に対してどのような感情を持つのかです。自分の職業を通して子供たちの健康管理というものを考え、自分で何が出来るのかを考えて行ったこの砂場のギョウ虫検査は、園児の親や幼稚園は、尾崎会員に対し、尊敬の念を持つのに違いありません。それと同時に、尾崎会員は、信用と信頼を「砂場のギョウ虫検査」という奉仕活動で、自分自身が得るのです。これはお金では決して得ることの出来ないものです。社会奉仕をすることによって、その地域の人々、地域社会から「尊敬と信頼と信用」を自分自身が得るのです。そして自分の職業がその反射的効果として繁栄するのです。これがロータリーの「職業奉仕」です。奉仕活動によって自分自身が受益者になるのです。社会奉仕と職業奉仕は、以上のように「一対」のものであると考えてもよい

のではないのでしょうか。

「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」という言葉をご存知でしょう。今、尾崎会員は、公立幼稚園のギョウ虫検査のみならず、泉南市内のすべての公園の砂場のギョウ虫検査を行っています。これはより多くの社会奉仕活動をすればするほど、その地域の人々や地域社会からより多くの職業奉仕である「尊敬と信頼と信用」を得るのです。これが「最も多く奉仕する者、最も多く報われる」なのです。

ただお金儲けをすればいいのではなく、倫理を持って、信用と信頼を持って、お金儲けをしなければいけない・・・人を欺いたり、泣かせたりして金儲けをしてはいけない・・・

ロータリーは、自分の職業に対して強く『倫理性』を求めているのです・・・『ロータリー運動は職業倫理を追求する運動である』

良い言葉だと思いました。

つぎに他団体の活動とロータリーを比べてみます。

ロータリークラブ以外のアメリカ系奉仕クラブ（ライオンズクラブ、シビタン、コスモポリス等）は職業を通して儲けたお金の一部を奉仕に使ってください、職業時間の一部を割いて、もしくは余暇の時間を使ってボランティア活動をしてください等、いわば困った人を助ける「弱者救済を持って奉仕とする」という考え方で

す。もう少し言えば、他の団体の標語は、「Not I serve, but We serve」なのです。個人では奉仕をせず、クラブが奉仕をするのです。個人の倫理については何も言いません。強いていえばクラブとしての倫理です。一方ロータリーの標語は「I serve」です。奉仕は個人の職業倫理において、奉仕の心を職業社会に実践するものです。クラブはその集合体であり、ロータリークラブとしての職業奉仕の実践機能はなく、団体奉仕という概念はありません。ロータリーに入会される時、クラブ全会員に対して、その人が入会してもよいかどうかを問う投票が行われます。もし不適格であると会員の誰かが判断したならば、その人は入会を許されません。ロータリーは入会に際しても、その人の倫理性を問うのであり、他団体にはこういう機能はありません。これが他団体とロータリーとの大きな相違点です。

ロータリーの職業奉仕を一言で表現するなら

ば、「世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むべし」となります。この言葉こそが職業奉仕にとって一番大事な言葉であり、基礎であり、決して忘れてはならない言葉であると思います。

そして、もう一つロータリーの倫理・・・

他団体の会員は「ロータリークラブは毎週毎週、なぜ例会を開くのですか？私たちは1ヶ月に2回例会を開催するだけです。ロータリーは例会で食事をし、話を聞いて、寄付をします。ロータリークラブというのは金持ちの暇人の集まりですね」とよく言います。でもそれは全く違います。ロータリーの例会は食事をするために出席するではありません。卓話を聞くために出席し、卓話を聞いて職業倫理を学ぶのです。我々は職業人の集まりです。例会に出席することにより、職業人同士の体験談、知識、知恵等を耳にし、職業倫理を互いに学びあうのです。卓話は聞いては忘れ、聞いては忘れてしまうものなのですが、しかし何度も何度も聞き、そして忘れていくうちに、次第に自分自身が磨かれ、ロータリー（職業倫理）が身についていくのです。そのため、ロータリーは毎週例会を開いているのです。クリスチャンが毎週日曜日に教会に行って神に祈り、心を洗うのと同じように、ロータリーは必ず毎週1回の例会に出席し、お互いに心を磨きあうのです。まず、ロータリアン自身の心を磨かなければ、ロータリアン自身の倫理を高めなければ、世の中に倫理を提唱することはできません。したがって、ロータリーは毎週例会があるのです。これが社会奉仕だけを目的とする団体や単なる寄付団体や慈善団体ならば、毎週例会を開く必要はないでしょう。極端なことを言えば半年に1回総会を開けばよいのです。例会に出席しなくても寄付さえしておけばよいのです。しかし、ロータリーは単なる寄付団体や慈善団体ではありません。ロータリアンの心の開発を第一義とする団体です。人作りなのです。社会奉仕だけを目的とする団体ではありません。ロータリーの職業奉仕の実践は、まず倫理を迫及する例会出席に始まるのです。すなわち、職業奉仕の実践は、例会に出席することから始まるのです。

以上、今期内山会長の下、職業奉仕小委員長という機会をいただき、このように少しだけ自分なりにロータリアンとしてのプライドを持てるようになった気がしました。



まだまだ、奥の深いものだとは思っておりますが、その入り口に立てたことは非常にいい経験になりました。

あと半期ですが、ロータリアンとしての職業奉仕の実践を精一杯務めていこうと思います。

健康増進小委員会  
川口 吉紀君  
代理 若林 秀典君



奉仕プロジェクト委員長の渡邊さんからの大振りで私が小委員長の川口さんの代わりを勤めさせていただきます。

この委員会は会員の健康に関する知識を深めるとともに健康増進をはかることを目的とし、会員の職業で医療に携わるメンバーに卓話をお願いして健康長寿を目指します。ロータリーのメンバーは一国一城の主という方が多く、健康を損なうということは会社、ひいては社会の損失にもなるかもしれません。メンバーを長く続けられるよう、お手伝いできればと思います。

社会奉仕小委員会  
早川 清人君



今年度の社会奉仕委員会の事業目的は、「例会・卓話でCSRについて、各会員より話す機会を持ちたい。」です。

CSRとは、企業の社会的責任 (corporate social responsibility) の略称であり、企業は利益のみを追求するのではなく、その組織の事業活動が社会へ与える影響に責任をもち、社会全体の視野から、あらゆる利害関係者の要求に対して企業は適切な対応をとるべきであるとの理念です。

企業によりこの具体的行動は異なるものではありますが、この理念を共に語り合い、自らの事業において何をすべきかを常に意識することは

重要と考えます。当小委員会では、その為の機会を少なからず設営していきたいと思ひます。

## ■ 奨学金授与

米山奨学生  
ドーベトクーン君



## ■ 委嘱状授与

<ガバナー補佐、表彰委員会>

委員  
朝比奈 潔君



<会員増強、維持委員会>

副委員長  
高杉 光洋君



## ■ 今週の一言

内藤 浩光君

腕立て伏せ40回、8Kgのダンベル、足のストレッチ、朝食無し、昼食も出来るだけカット、でも今回、ストレスから、带状ほうしんになって、栄養たっぷり、筋トレ無しの天国の様な、この頃です。

人間一人の時の過ごし方で本当の品格が判るって言いますが、僕は、誰かに見て褒めて貰わないと、筋トレ続けるの難しい。

## 例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/29(金) 第 1167 回	健康セミナー②	
2/5(金) 第 1168 回	節分例会 2/3 に変更	
2/12(金) 第 1169 回	国際奉仕委員会 担当	理事会
2/19(金) 第 1170 回	外部卓話	2/18(木) 焼津 55 周年

(担当／渡邊芳君)